

東京都立荒川工業高等学校

【校長】 西牧 豊実
【生徒数】 279名
【学級数】 13学級



【課題・改善】

- 一時的な知識の習得にならないよう、今後も引き続き「性」や「健康」を意識する時間を設定する。
- インターネット、ゲームにのみ依存している生徒に対応を行う。

【今後の取組】

- 学校全体で教科等横断的に健康教育の充実を検討する組織づくりを考える。
- 体験学習・実習などを充実させ、得意なこと、好きなことを増やす取組を検討する。

目標

- ・ 性の知識を踏まえた生涯の健康に関する理解の促進

【実態・課題】

- 男子生徒の数が女子生徒の数に比べ圧倒的に多い。相手の気持ちを考えて不安なく異性に接することができるようにすることが大切である。
⇒異性の心身の変化を学習し、自分の健康のみならず、将来のパートナーの健康も管理できるようになる。
- インターネットやゲームに依存してしまうことがある。
⇒ 体験や実習を通して、生徒の興味の幅を広げる。

【成果】

- **生徒の意識に関する成果**
異性の心身の変化について専門家である医師から学習することで、真剣に性を考えるきっかけとなった。
- **生徒の態度に関する成果**
自分の体だけでなく、将来のパートナーの健康も意識するようになった。
- **その他（教員の授業改善など）**
産婦人科医の考えや取組に触れ、具体的な知識を得ることができた。

【取組】

- 科目保健における外部人材、視聴覚教材の活用
- 日本産婦人科医会主催「性教育指導セミナー全国大会」への参加
- 産婦人科医を招へいした授業の実施
 - ・ 思春期の男女の変化・妊娠出産のしくみ
 - ・ 避妊方法・性感染症予防について

【取組（詳細）】 健康に関する指導の強化、外部人材や視聴覚教材

○ 科目保健における外部人材・視聴覚教材の活用

- ・ 購入した視聴覚教材や「#つながるBOOK」「おうち性教育はじめます」などの書籍を参考にした授業を実施した。
- ・ 産婦人科医のみならず、消防隊員の方などを招き、多角的に健康を考える授業を実施した。



○ 日本産婦人科医会主催 「性教育指導セミナー全国大会」への参加

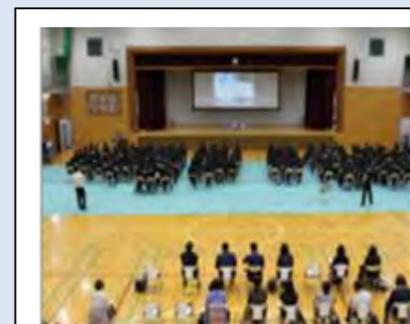


- ・ ネット配信及び会場開催により、性教育について11名の講師等による講演が実施された。
- ・ パートナーと豊かなコミュニケーションとして「性」を考えていくことが大切だと学んだ。性の変化等について、学習内容を充実させたいと考えた。

○ 産婦人科医を招へいした授業の実施

- 第1時…事前学習「自らのライフイベントについて考えよう」
- 第2時…産婦人科医による講演
- 第3時…事後学習「ライフプランを考えよう」

- ・ 生徒は、事前学習で実施した「自分が生まれた時のこと」と関連付け、誕生に関わる講師の話真剣に聞いていた。
- ・ 専門家ならではの具体的な話が生徒の主体的な学びへとつながった。



第2時の講演時に、胎児のエコー映像を見る生徒たち